

平成22年3月24日

平成22年3月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成22年3月1～5日

2 調査船

くろしお（260トン）

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採集し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採集等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

甌島周辺で1定点あたり1～7個採集され、1定点当たりの平均採集数は1.4個と全く採集されなかった昨年は上回ったが、過去5カ年の平均（91.9個）は大きく下回った。

・稚仔魚の分布状況

甌島周辺で1定点あたり3～27尾採集され、1定点当たりの平均採集数は6.5尾と全く採集されなかった昨年は上回ったが、過去5カ年の平均（17.5）は大きく下回った。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

全ての定点で採集されなかった。

・稚仔魚の分布状況

全ての定点で採集されなかった。

【その他のイワシ類】

マイワシは卵、稚仔魚ともに採集がなかった。

ウルメイワシは、県西部海域では卵は甌東で23個、甌北で10個、黒島北西、東シナ海で1個、稚仔魚は、甌北、東シナ海、宇治群島東で1尾採集された。薩南・県東部海域では卵は阿久根沖、枕崎沖、開聞沖、竹島西、種子島南東沖で1個、稚仔魚は志布志湾湾口部で1個採集された。1定点当たりの卵の平均採集数は、県西部海域、薩南・県東部海域ともに平年を上回った。

